すずしろ

～開拓・発展・完成～

６月 第３号

令和５年６月２９日

開進第四中学校だより

校　長　田邊克宣

『　心豊かに生きるために　』

梅雨の候、晴れたり降ったりと移り変わる毎日ですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。令和５年度も３か月が過ぎ、運動会という一大行事を成功させた生徒たちは、各学年共一回り成長したようです。

さて本校では、日頃より、命を大切にする教育を推し進めていますが、６月５日（月）からの１週間は特に、“ 命 ” について深く考える取組を多く行いました。

まず月曜日には、「 自転車安全教室 」として、軽車両である自転車の安全な乗り方について学びました。スケアード・ストレイトを用いたスタントマンによる事故の実演を通して、事故に遭わない・起こさない（ここも大事です）ことについて意識を深めました。

次に水曜日は、「 生命（いのち）の安全教育 」として、『 デートＤＶ 』についての講演会を行いました。練馬区立 男女共同参画センター“ えーる ”の主催による取組で、講師は、ＮＰＯ法人“ 女性ネット Ｓａｙａ－Ｓａｙａ ”の方が３名で担ってくださり、柔らかな語り口で、ＤＶとデートＤＶの違いなども丁寧にお話しくださり、生徒たちはよく聴きいっていました。

その後、教職員向けの研修会を実施し、ＤＶの背景には社会構造が大きく影響しているということについて改めて考えを深めました。男女雇用機会均等法が施行されてから４０年近くたちましたが、道半ばというところでしょうか。しかし、時代は確実に変化しています。この機を逸することなく、さらにフラットな社会を目指して、我々が未来を変えていきましょう。

そして金曜日には、練馬警察署からお越しいただいた警察官による「 セーフティ教室 」を実施し、SNS の安全な使い方や、薬物の乱用による危険性について学びました。

危険から身を守るためには、正しい知識と実践が必要不可欠です。子供たち一人一人が、生涯にわたって、豊かに、安全に暮らしていくことができる力を育めるように、今後も学校として“ 命 ”の教育を推進してまいります。

☆ マスク着用等、個人判断に委ねられて２か月がたった今、専門家からは、新型コロナウイルス感染拡大の第９波が始まっているとの見解が出されました。医療逼迫が懸念される県もあり、関東でも増加傾向が続いています。この 3 年間の苦労を思い出し、自分がつらい目にあうことも、また、他者にあわせることもないように、今一度 感染防止対策の実践に努めましょう。風邪症状（ 咳・発熱等 ）のある時は、無理をせずに休んでください。